

この製品はタミヤ グラスホッパー・ホーネットのフロントタイヤの切れ角をアップさせ、ドリフトを可能にする製品です。取り付けには一部加工が必要です。

グラスホッパー・ホーネットに最適化されていますが、ランチボックス・DT-02・DT-03・グラスホッパー2に取り付けることも可能です。グラスホッパー等の車体およびメカは別途ご購入ください。2駆ドリフトをするためには車体とメカ以外にもジャイロが必要です。

公式サイトで動画も紹介



注意

- 工具の使用には十分注意してください。特にニッパーやナイフなど刃物によるけがや事故に注意してください。
- オイルが誤って目や口に入った時はすぐに大量の水で洗い流し、医師に相談してください。
- 組み立てる前に説明工程を必ずお読みください。また、保護者の方もお読みください。
- 小さなお子様のいる場所での作業はしないでください。工具にさわったり、パーツやビニール袋を口に入れるなどの危険な状況が考えられます。

CAUTION

- When assembling these parts, tools including knives are used. Extra care should be taken to prevent personal injury
- Damper oil must not be inhaled or ingested. Keep away from eyes and skin. If accidental exposure occurs, immediately flush with water and seek medical attention.
- Always read instruction before assembly. Children should have instructions read by supervising adult.
- Keep out of reach of small children. Children must be allowed to put any parts or packaging material in their mouth.

<パーツリスト>

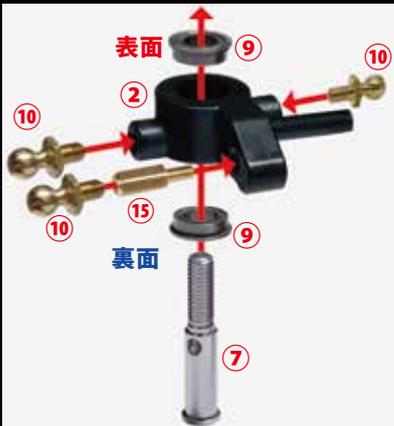


- ① 延長Cハブ×2セット
 - ② ナックル×2
 - ③ 六角円筒ハブ(3Dプリンタ製)×2
 - ④ アジャスター×2
 - ⑤ 5mm スペーサー×2
 - ⑥ 延長サーボホーン(3Dプリンタ製)
 - ⑦ アクスル×2
 - ⑧ 25mm ビス×2
 - ⑨ ベアリング×4
 - ⑩ ピロボール×6
 - ⑪ ロックナット×2
 - ⑫ イモネジ 12mm×2
 - ⑬ ハブピン×2
 - ⑭ M2-M3 変換ナット×2
 - ⑮ タカナット 10mm×2
 - ⑯ ハブピン×2
 - ⑰ タカナット 20mm×2
 - ⑱ M4 タカナット 11mm×2
- ※⑰⑱はランチボックス用

1 ナックルの作成

共通

使用部品: ②ナックル×2 ⑦アクスル×2 ⑨ベアリング×2 ⑩ピロボール×6 ⑮タカナット10mm×2



②ナックル両面から⑨ベアリングを入れ、裏面から⑦アクスルを入れます。タイロッド取り付け部分に⑮はタカナット10mmを挿入してから⑩ピロボールを取り付けます。左右1つずつ作ります。



2 延長Cハブの作成

共通

使用部品: ①Cハブ×2セット ③六角円筒ハブ×2 ⑯サスピン×2

グラスホッパー・ランチボックスの純正ホイールは装着部分が円筒形状の為、コンパ付属の六角円筒ハブを使用します。一般のバギー用ホイールおよびドリフトホイールを装着する場合は別売りの六角ハブ(3~8mm)を使用してください。ドリフトホイール等のオフセットのあるホイールを装着する場合はスクラブ量(ハブオフセット)が13mm以上になるように調整してください。

※MRC ホイールハブ 3mm~8mmも発売中!!(ピン付)



延長Cハブ完成 ※Cハブは上下があります



ナックルストッパーの円柱がある方にCハブの長い方を取り付けます

ガラスホッパー・ホーネットへの取り付け



1 ダンパーを止めるビスとナットを反転

コンバージョンキットを装着して切れ角がアップするとタイロッドとナットが干渉してきます。ナットが前側、ビスが後ろ側になるように取り付けます。



ナットが前、ビスを後ろにする

純正ナックル周辺は不要になりますので左右取り外します

2 シャーシの初期準備と加工

タイヤとサーボが装着されていない状態にします。シャーシの赤線の部分がタイロッドに干渉しますのでニッパーでカットします。※小さなお子様は大人に手伝ってもらいましょう



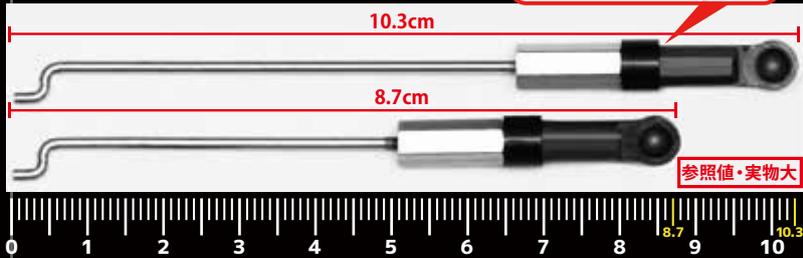
ニッパーでカットします

完成

3 タイロッドの作成

タイロッドをM2-M3 変換ナットを使用して延長します。下記のタイロッドの長さはSPT-4412LVを基準としています。サーボによってかなり前後に差がありますのでこの数値はあくまで基準です。取り付け後にロッドの長さやサーボのスタート角度を調整してニュートラルではまっすぐ、左右対称に切れるようにしてください。

使用部品: ④アジャスター×2 ⑤5mm スペーサー×2 ⑬イモネジ 18mm×2 ⑭M2-M3 変換ナット×2



参照値・実物大

4 延長サーボホーン・タイロッドの取り付け

使用部品: ⑥延長サーボホーン ※タミヤTSU-03等、高さのあるサーボには取り付けできません

延長サーボホーンに⑥で作成したタイロッドを取り付けます。まず延長サーボホーンの前側の穴に短い方を入れます。次に、写真のように短い方のタイロッドをシャーシに通した状態で左(長い方)を後ろの穴に入れます。



①最初に向かって右(短い)タイロッドを取り付け
②次に左(長い)タイロッドを取り付け

切れ角が必要でない方、下のアームに干渉する方は裏面の⑧へ

延長サーボホーンを取り付けるには壁までの距離が1.0mm以上必要です。タミヤTSU-03等の背の高いサーボは下のアームに干渉する為、取り付け不可です。(ReveD RS-ST・SAMWA PGS-CL-IIも装着確認済み)サーボホーンは3Dプリンタ製です。強化レジンを使用しておりますが純正より若干強度が劣りますのでご了承ください。

延長サーボホーン 取り付けOK
SPT4412LV 隙間 1.5mm

延長サーボホーン 取り付けOK
ReveD RS-ST 隙間 1.0mm

5 延長Cハブの取り付け

左右取り付けます
(向きに注意)



使用部品:
⑩25mm ビス ×2
⑪ロックナット ×2

②で作成した延長Cハブを、グラスホッパー純正のCハブに取り付けます。向きに注意してください。

タイロッドをナックルのピロボールに取り付けます。

6 タイヤの取り付け

六角円筒ハブの六角部分をラジオペンチで抑えながらナットを締め、タイヤを取り付けます。



ランチボックス取り付け完成図



ハイトルクサーボセーバーを使った場合の切れ角
純正サーボホーンは切れ角がやや少なくなります

バッテリーホルダが干渉した場合、切れ角を制限するが少し削ってください

7 完成

写真のような切れ方になれば完成です。タイヤが切れていく途中、トーンになると減速します。右から左、最初から最後までトーンにならないように調整してください。



純正オプションのハイトルクサーボセーバーも有効です

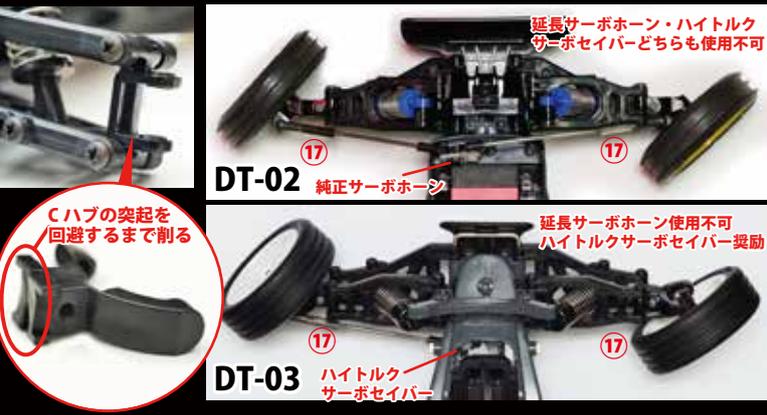
極力、左右の切れ角 MAX までトーンの箇所が無いように気をつけてください。ややトーアウトになるよう、タイロッドの長さを調整してください。

さらに切れ角が欲しい方は干渉部分を削ってください

DT-02.03 への取り付け

基本的にグラスホッパーと同じ工程になります。タイロッドが M3 になり、⑥延長サーボホーンは使えません。Cハブに突起がついており、突起を回避するためにコンパクトの延長Cハブを削る必要があります。ナックルの⑬タカナット 10mm は取り付けません。

使用部品: ⑬タカナット 20mm ×2



延長サーボホーン・ハイトルクサーボセーバーどちらも使用不可

DT-02 純正サーボホーン

延長サーボホーン使用不可
ハイトルクサーボセーバー奨励

DT-03 ハイトルクサーボセーバー



Cハブの突起を回避するまで削る

8 キット付属のサーボホーンを使用する場合

切れ角が不要な方や、タミヤサーボ等の背の高いサーボを使う方はキット付属のサーボホーンを使用してください。下の写真のように、サーボホーンと壁までの隙間が無いサーボは⑥延長サーボホーンでは下のアームに干渉します。



5mm スペースサーボは使用せず、12mmのイモネジで連結してください。

前からタイロッドを差し込む

純正サーボホーンでも十分な切れ角があります

グラスホッパー2への取り付け

基本的にグラスホッパーと同じ工程になります。⑥延長サーボホーンと M2-M3 変換ナットを同じように取り付けてください。2はCハブの形状が特殊な為、①延長Cハブに2.7mmのドリルで穴を開け、⑩12mmのイモネジで連結してください。



2.7mmのドリルで穴あけ、⑩12mmのイモネジで固定

ストッパーをカット

グラスホッパーと必要パーツは同じです

ランチボックスへの取り付け



基本的にグラスホッパーと同じ工程になります。タイロッドが M3 になり、⑥延長サーボホーンは使えませんのでご注意ください。切れ角と強度をアップするために純正オプションのハイトルクサーボセーバーを奨励します。

使用部品: ⑬タカナット 20mm ×2 ⑭タカナット M4 ×2



ビスとナットを反転します (ビスが後ろ)

タイロッドの長さ参照値 (SPT4412LVサーボの場合)
長い方 10.3cm
短い方 8.7cm



奨励パーツ:
SP-1000 ハイトルクサーボセーバー (ブラック)
SP-473 ハイトルクサーボセーバー (ホワイト)

【ジャイロ・サーボについて】

2 駆でのドリフト走行には自動的にカウンターを切ってくれる「ジャイロ」が必要です。ジャイロは下記のものを奨励しています。設置や操作方法は各商品の説明書をご覧ください。また、ジャイロを搭載するとホイールが震える「ハンチング」という現象が起こります。ハンチングが出なくなるまでジャイロのゲインを下げてください。ハンチング抑制の付いた SPT4412LV、ReveD RS-ST 等のサーボをお勧めします。

- イーグル模型 SP レートジャイロ V3C アルミケース付 3944AL-U-LBL 4,378 円
- GWS PG-03 ピエゾジャイロ GWPG03 3,850 円
- SPT 4412LV デジタルサーボ 2,800 円
- ReveD RS-STB [RWD ドリフト専用 ハイトルク デジタルサーボ 9,460 円

【ホイール・タイヤについて】

土の上ではノーマルのゴムタイヤでも空転するだけのパワーがあればドリフトはしますが、アスファルトや P タイルの上ではゴムタイヤではグリップが強く空転しません。プラスチック製のドリフト用ホイール・タイヤを装着することでタイヤが空転ドリフトが容易になります。

【ホイールの種類について】

ドリフト用のホイールを使用する場合、フロントタイヤはハブの厚み + ホイールのオフセット (スクラップ量) が 13mm になるように調整してください。ホイールハブを別途購入すれば多くのホイールを使用できるようになります。リアタイヤは 1.7mm の六角ハブを装着することにより純正ホイール以外の汎用タイヤが装着できます。

- MRC 大径ホイール 直径 54mm 4 本 ブラック 1880 円
- TOP LINE N モデル ver.3 ホイール HARD TYPE 2 個入り 770 円



【タイヤの種類について】

アスファルト・タイル・カーペットなどでそれぞれ奨励されているタイヤをご使用ください。

- アスファルト用
TOP LINE ドリフトタイヤスポーツエディション TDT-002PC 1,628 円
- ヨコモドリフトコンペティションタイヤ ZR-DRA 1,430 円

- カーペット・P タイル用
大径タイヤ 内径 54mm HDPE 4 本 1980 円
- TOP LINE ドリフトタイヤスポーツエディション TDT-002PE 1,628 円
- ヨコモドリフトコンペティションタイヤ ZR-DRC 1,430 円



公式サイト

公式 LINE

カスタマーサポート、お問い合わせは
公式サイトのお問い合わせフォーム・各 SNS
または MRC 公式 LINE をお願いします。

https://mrc.jpn.com/
mail: minamiuonuma.rc@gmail.com

